

# 月刊 動労千葉

## 動労千葉結成10周年!

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

1989.4.20 No3016

# 前へ未来へ 4/15 10周年記念レセプション

## 盛大に10周年を祝う

結成10周年レセプションは、県労働者福祉センター大ホールにおいて盛大に開催された。

この十年動労千葉は、三里塚労働連帯、貨物安定宣言に端を発した、動労「本部」との組織争闘戦に勝利する中で分離独立し、結成理念である反合—運転保安闘争を大きく前進させ、とりわけ一波—二波をはじめとする実力闘争においては、国鉄「分割・民営化」の本質を余すところなく白日の下に暴き出した。

そしてこの過程こそ、激動の八十年代—「戦後

政治の総決算」攻撃との非妥協・不屈の激闘の時代であったと言える。

レセプションでは、この間動労千葉を物心両面から支え、共に闘いを共有してきた全国の住民団体・労組代表の方々から挨拶を受け、十年の成果とさらなる十年への出発の橋頭堡にふさわしいものとなったのである。

又、この十年間を振り返るパネル展とスライド上映が行われ、感慨を深めたところである。

NEXT十年—労働者が時代を創造する。



動労千葉10周年!! 全国の仲間が祝杯を上げる

### 10年の闘いの正義性は明らか

主催者代表あいさつ  
動労千葉委員長 中野 洋

分離独立して十年、闘いに次ぐ闘いの歴史であった。

この過程は、労働組合とはどうあるべきかを問われるものであった。

八十年代—国家を挙げた攻撃の中で、組合員の利益を守るため、我々は三里塚、反合—運転保安を軸に闘い抜いた。分離独立とは、運動・指導・組合民主主義をめぐる対立であり時代の必然であったと言える。

動労千葉結成時に提唱した、「激動の八十年代に通用する自前の労働運動」この言葉の中にこそ全てが凝縮されている。

中曽根—竹下による、「戦後政治の総決算」とは、臨調・行革によって、平和と民主主義を基礎とした戦後日本の型体を根底から変革させるものとして出されてきた。

分団独立して十年、闘いに次ぐ闘いの歴史であった。

この過程は、労働組合とはどうあるべきかを問われるものであった。

八十年代—国家を挙げた攻撃の中で、組合員の利益を守るため、我々は三里塚、反合—運転保安を軸に闘い抜いた。分離独立とは、運動・指導・組合民主主義をめぐる対立であり時代の必然であったと言える。

動労千葉は一一〇〇名組合員・家族がまさに血みどろとなって闘い、二波のスト—順法・大衆闘争を担い抜いた。確かにジェット闘争と合わせて三十四名の不当解雇攻撃を受けたが、労働組合は闘わなければ団結を堅持できず、強くなならないことを身をもって証明した。

八十年代を上回る大変な九十年代—総評解散—連合との合併は労働運動の再編と流動化を強制している。

闘いはまさにこれからである。

「分割・民営化」体制

の矛盾は続々と表面化し、JR当局—鉄道労連の破壊は日々現実化している。

また、十年間闘い抜いてこられたのは、全国の仲間の物心両面の支援が大であり、物販活動に対する献身的取り組みに支

### 心にはつねに動労千葉が

動労西日本・井面委員長

ジェット燃料貨車輸送阻止闘争を、当時私は動労組合員として心の内では連帯していた。

私は戦後政治の総決算攻撃に対する反対集会の呼びかけ人になったという事だけで、動労「本部」

えられたものでもある。我々は清算事業団十二名の奪還—労働組合交流センターの発足とあいまって打って一丸となって九十年代を突き進むものである。

より除名をされ少数人数ではあるが動労西日本を結成し、JR当局—鉄道労連一体となった攻撃に抗して闘い抜いてきた。

歴史の流動化の中、労働者階級の解放のために闘い抜く。

あいさつをいただいた方々

- 県労連広田事務局長▽社
- 会党系久参議院議員、赤
- 桐参議院議員、上野前衆
- 議院議員、大木衆院三区
- 予定候補者▽反対同盟北
- 原事務局長▽関西実行委
- 員会永井代表▽北富士忍
- 草母の会渡辺会長、天野
- 事務局長▽県交運岡野事
- 務局長▽全金千葉安藤書
- 記長▽全金本山・中野書
- 記次長▽争議団連絡協議・
- 新居崎氏▽出版労働者連
- 帯連議・三住氏▽国労共
- 闘・吉野代表▽婦人民主
- クラブ全国協議会▽宮島
- 義勇監督
- 動労西日本・井面委員長
- ▽動労水戸・述川委員長
- ▽動労連帯高崎・和田山
- 委員長
- OB会会長▽家族会
- 林会長

